

3 健康で、はつらつとしたまちをめざして — 一次世代育成・健康福祉・教育・生涯学習 —

だれもがいつまでも健康で、また地域とともにより質の高い教育をめざすまち、次世代のためにもみんながお互いに助けあい、健康と福祉の向上をめざすやさしいまちの実現をめざします。

◆児童館開館日の充実

100万9千円

担当：子育て支援課

予算書掲載ページ：154

火曜日が休館日である市内の3つの児童館（花小金井南児童館、小川町二丁目児童館、小川町一丁目児童館）について、平成30年度からは第2・4・5火曜日を開館します。

予算の内訳（使いみち）

●サービス業務委託（増分） 100万9千円

財源内訳

■小平市の負担額 100万9千円

◆小平市子ども・子育て支援事業計画の策定

388万8千円

担当：子育て支援課

予算書掲載ページ：138

平成31年度で計画期間が終了する「小平市子ども・子育て支援事業計画」の次期計画を、子ども・子育て支援法に基づいて策定します。平成30年度は、ニーズ調査を実施します。

予算の内訳（使いみち）

●調査等委託 388万8千円

財源内訳

■小平市の負担額 388万8千円

◆学童クラブの新設

1億4,910万1千円

担当：子育て支援課

予算書掲載ページ：154

入会児童数の増加に対応するため、五小学童クラブ第二・第三（定員各40人）と花小金井小学童クラブ第二（定員40人）を学校の増築棟に合併して建設工事を行います。

予算の内訳（使いみち）

●新築工事 1億4,910万1千円

財源内訳

■国の負担額 9,002万4千円

■都の負担額 4,975万9千円

（うち市町村総合交付金 1,600万円）

■小平市の負担額 931万8千円



花小金井小学童クラブの様子

◆上宿小学童クラブ第二の指定管理者による管理運営

1,937万2千円

担当：子育て支援課

予算書掲載ページ：152

平成30年度から新たに開設する上宿小学童クラブ第二について、指定管理者による管理運営を行います。

予算の内訳（使いみち）

- サービス業務委託 1,937万2千円

財源内訳

- 国の負担額 312万2千円
- 都の負担額 716万6千円
- 学童クラブ費 264万円
- 小平市の負担額 644万4千円

◆ひとり親家庭・生活困窮者学習支援事業の充実

960万円

担当：生活支援課、子育て支援課

予算書掲載ページ：110、152

ひとり親家庭及び生活困窮者家庭の子どもを対象に実施する学習支援事業の実施場所を1か所から3か所へ拡大します。また、派遣型学習支援を新たに実施します。

予算の内訳（使いみち）

- サービス業務委託 960万円

財源内訳

- 国の負担額 144万円
- 都の負担額 504万円
- 小平市の負担額 312万円

◆小平市認定家庭福祉員（都制度）の家庭的保育事業（国制度）への移行

5,689万2千円

担当：保育課

予算書掲載ページ：138

市の認定のもと保育を行っている小平市認定家庭福祉員について、国制度の地域型保育事業の1つである家庭的保育事業へと移行させ、市の認可保育施設とします。これにより、市の認可に基づいたきめ細やかな保育サービスが受けられるようになります。30年度は4人の認定家庭福祉員を国制度へ移行します。

予算の内訳（使いみち）

- 補助金（福祉団体等） 5,689万2千円

財源内訳

- 国の負担額 2,844万6千円
- 都の負担額 1,422万3千円
- 小平市の負担額 1,422万3千円

◆小規模保育事業の開設

4,717万7千円

担当：保育課

予算書掲載ページ：138

待機児童の解消を図るため、花小金井南町1丁目に、小規模保育事業1施設（こだはなコスモ保育園）を開設し、19名の定員の拡充を図ります。

予算の内訳（使いみち）

- 補助金（福祉団体等） 4,717万7千円

財源内訳

- 国の負担額 2,190万8千円
- 都の負担額 1,095万4千円
- 小平市の負担額 1,431万5千円

◆認可外保育施設入所児童の保護者に対する補助金の見直し

4,985万円

担当：保育課

予算書掲載ページ：140

待機児童対策の一環として、認証保育所と認可保育園との料金格差を埋めるために補助金額及び制度の変更を行い、認証保育所の利用者の増加を図ります。

予算の内訳（使いみち）

●補助金（直接交付） 4,985万円

財源内訳

■都の負担額 2,492万5千円
■小平市の負担額 2,492万5千円

◆市内事業者への女性活躍の啓発

5万円

担当：市民協働・男女参画推進課

予算書掲載ページ：80

市内事業者と市の意見交換会を実施し、女性の就労を支援するための体制整備について啓発を行います。

予算の内訳（使いみち）

●アドバイザー、モデル事業者への謝礼 5万円

財源内訳

■都の負担額 2万5万円
■小平市の負担額 2万5万円

◆ひとり親家庭高卒認定試験合格支援事業

29万7千円

担当：子育て支援課

予算書掲載ページ：150

高等学校を卒業していないひとり親家庭の親及びその子どもを対象に、より良い条件で安定した就業につなげるため、高等学校卒業程度認定試験合格指導講座を受講する際の受講費用の一部を助成します。

予算の内訳（使いみち）

●補助金（直接交付） 29万7千円

財源内訳

■国の負担額 22万2千円
■小平市の負担額 7万5千円

◆子育て応援サイト運営支援

210万円

担当：政策課

予算書掲載ページ：62、64

平成28年度に構築した、子育てについての情報を一元的に発信するサイトの運営を支援します。サイトは、小平市が行う子育て支援情報と、小平市在住の子育て中の女性が発信する情報の2つから成っており、子育て世代の市民の利便性の向上を図ります。

予算の内訳（使いみち）

●補助金（サイト運営団体へ） 210万円

財源内訳

■国の負担額 105万円
■小平市の負担額 105万円

子どもと一緒にそだつまち小平



小平市公認 子育て応援サイト

こだち

小平がより子育てしやすいまちに！
行政情報と、ママの視点のお役立ち情報で
あなたの子育てをサポートするサイトです。



☆その他の事業（次世代育成）

◆民間保育園・認証保育所等経費	60億2,710万円
◆市立保育園の運営経費	17億7,540万3千円
◆私立幼稚園等経費	10億5,222万2千円
◆児童助成経費 (児童手当、児童扶養手当、乳幼児医療費助成など)	47億5,609万6千円
◆ひとり親福祉経費（ひとり親家庭医療費助成、母子相談など）	1億1,124万1千円
◆学童クラブ経費	5億3,139万4千円
◆児童館経費	6,016万7千円

◆食のライフプラン事業の充実

55万9千円

担当：健康推進課

予算書掲載ページ：172

骨、筋肉、血管を丈夫に保つことを広く啓発することを目的に、血管力アップ教室を実施する等、こ
だいら健康増進プランにも掲げた、ライフステージを通じた食育を推進します。

予算の内訳（使いみち）

●臨時職員	15万4千円
●謝礼	25万3千円
●作成等委託	14万円
●消耗品費	1万2千円

財源内訳

■都の負担額	27万9千円
■小平市の負担額	28万円

◆こだいら健康ポイント事業

788万7千円

担当：健康推進課

予算書掲載ページ：160

生活習慣の改善が必要な市民300人に活動量計を配付し、市内の公共施設等に常設のタブレット端
末を設置します。また、歩くことを中心とした健康習慣や、健康教室、市のイベントに参加することで
ポイントを付与し、健康維持や医療費の削減効果を図ります。半年間の最後の計測時に、一定数のポイ
ントに達した方には、インセンティブとして小平ベリースタンプ満点券をお渡しします。

予算の内訳（使いみち）

●機器等保守整備委託	770万7千円
●事務処理等委託	18万円

財源内訳

■小平市の負担額	788万7千円
----------	---------

◆介護予防事業の充実

670万円

担当：高齢者支援課

予算書掲載ページ：130

平成30年度小平市介護保険事業特別会計予算書掲載ページ：32

介護予防による地域づくり推進員を配置し、介護予防の場を自主運営できるよう後方支援を行うほか、地域の介護予防の場での運動指導等を行います。

また、要介護認定を受けていない一定の年齢の高齢者に対して行う実態把握調査について、回答に応じた案内を行うことより、介護予防事業の充実を図ります。

予算の内訳（使いみち）

●サービス業務委託	550万円
●調査等委託	120万円

財源内訳

■国の負担額	30万円
■都の負担額	565万円
■保険料	60万円
■小平市の負担額（一般会計繰入金）	15万円

◆認知症施策の充実

722万9千円

担当：高齢者支援課

平成30年度小平市介護保険事業特別会計予算書掲載ページ：34

認知症週間として認知症声かけ模擬訓練や講演を行うほか、認知症地域支援推進員の増員や認知症初期集中支援チームの設置を行うことで、認知症施策の充実を図ります。

予算の内訳（使いみち）

●講師謝礼	18万円
●消耗品費	9万1千円
●通信運搬費	5万8千円
●認知症地域支援推進員委託	378万円
●認知症初期集中支援チーム委託	312万円

財源内訳

■国の負担額	282万円
■都の負担額	140万9千円
■保険料	160万8千円
■小平市の負担額（一般会計繰入金）	139万2千円

◆発達支援相談拠点の設置の検討（児童発達支援センターの設置）

25万5千円

担当：障がい者支援課

予算書掲載ページ：122

重層的な地域支援体制の構築を目標に、平成32年度末までに発達支援相談拠点の機能を併せ持つ児童発達支援センターを1か所設置することを目指します。平成30年度は検討委員会を設置して検討を行います。

予算の内訳（使いみち）

●委員謝礼	25万5千円
-------	--------

財源内訳

■小平市の負担額	25万5千円
----------	--------

◆障がい者グループホームの自立支援給付費等の支援

0千円

担当：障がい者支援課

予算書掲載ページ： -

障がい者グループホームを1か所（定員7名）増設し、入所者の共同生活援助費等の支援を行います。平成31年3月に開設予定ですが、給付費等の支援につきましては、平成31年度から始まります。市内の障がい者グループホーム数は、合計28施設となります。

予算の内訳（使いみち）

- 共同生活援助給付費、家賃補助（増分）0千円

財源内訳

- 小平市の負担額 0千円



◆人間ドック利用費補助事業の拡充

110万円

担当：保険年金課

平成30年度小平市国民健康保険事業特別会計予算書掲載ページ： 30

平成30年度小平市後期高齢者医療特別会計予算書掲載ページ： 18

人間ドックまたは脳ドックを受診した方への上限1万円の補助を、両方受診した場合、上限2万円に拡大し、健康の保持増進を図ります。

予算の内訳（使いみち）

- 補助金（直接交付）（増分） 110万円

財源内訳

- 小平市の負担額（一般会計繰入金） 110万円

☆その他の事業（健康福祉）

◆社会福祉団体育成事業経費（小平市社会福祉協議会など）	1億7,581万1千円
◆たいよう福祉センター、あおぞら福祉センター経費	3億3,359万2千円
◆障害者自立支援給付経費	45億7,063万4千円
◆障害者地域生活支援事業経費（日常生活用具給付、移動支援など）	2億7,914万8千円
◆障害者福祉推進事業経費（各種補助事業など）	2億9,376万3千円
◆障害者助成費事業経費（心身障害者福祉手当など）	5億7,923万9千円
◆国民健康保険事業特別会計繰出金	24億8,000万円
◆介護予防・生活支援事業経費 （高齢者住宅経費、特養老人ホーム建設費補助など）	2億1,686万7千円
◆高齢者福祉施設経費（福社会館、さわやか館、ほのぼの館など）	9,641万7千円
◆高齢者福祉推進事業経費（老人クラブ補助、敬老記念品など）	2,439万4千円
◆高齢者助成費事業経費（おむつ支給）	1,152万円
◆後期高齢者医療特別会計繰出金	19億5,900万円
◆介護保険事業特別会計繰出金	19億4,700万円
◆生活保護事業経費	62億7,574万9千円
◆健康診査・予防接種・がん検診等経費	7億2,660万8千円
◆健康教室・乳幼児健康診査等経費	2億3,420万5千円

◆学校施設の整備

担当：教育総務課

9億1,353万2千円

予算書掲載ページ：246、256

第十二小学校の増築設計、第五小学校の増築及び給食室改修、花小金井小学校の増築及び特別教室の普通教室化改修等を行います。

予算の内訳（使いみち）

- 修繕料及び改良・改修工事等

9億1,353万2千円

財源内訳

- 国の負担額 1億6,658万8千円
- 都の負担額 1億860万円
(市町村総合交付金)
- 小平市の負担額 6億3,834万4千円
(うちの市の貯金取崩し 3,000万円)
(うちの市の借金 5億7,180万円)



増築工事を行っている第五小学校

◆学校体育館の防災機能強化

担当：教育総務課

9,462万7千円

予算書掲載ページ：246、256

学校体育館の避難所機能強化のために、アリーナの吊り下げ式バスケットゴールの撤去更新工事を行います。平成30年度は小学校6校（第二・三・九・十二・十四・十五小学校）、中学校1校（第一中学校）で実施します。

予算の内訳（使いみち）

- 吊り下げ式バスケットゴールの撤去更新

9,462万7千円

財源内訳

- 国の負担額 3,154万2千円
- 都の負担額 1,577万1千円
- 小平市の負担額 4,731万4千円
(うちの市の借金 4,720万円)

◆花小金井南中学校地域開放型体育館の建設

担当：教育総務課

3,500万円

予算書掲載ページ：256

花小金井南中学校の拡張敷地に、地域開放型体育館を建設します。平成28年度から30年度まで設計を行い、平成31年度から32年度まで建築工事を行う予定です。

予算の内訳（使いみち）

- 設計等委託（実施設計）

3,500万円

財源内訳

- 都の負担額 680万円
(市町村総合交付金)
- 小平市の負担額 2,820万円
(うちの市の借金 2,620万円)

◆小学校給食調理業務の委託化

5,231万3千円

担当：学務課

予算書掲載ページ：310

平成30年度は新たに、第一小学校で給食調理業務を委託化します。この委託料のほか、平成31年度から委託実施予定の第十一小学校に、強化磁器食器等を整備します。

予算の内訳（使いみち）

- 給食調理業務委託（増設分） 3,085万3千円
- 強化磁器食器・食器かご（増設分） 416万9千円
- 厨房機器（増設分） 1,729万1千円

財源内訳

- 都の負担額 969万4千円
（市町村総合交付金）
- 小平市の負担額 4,261万9千円



委託化された給食調理業務の様子

◆学校給食センターの更新

2,659万1千円

担当：学務課

予算書掲載ページ：312

「学校給食センターの整備に関する基本的な方向性」に基づき、PFI手法による施設更新を行います。平成30年度はPFI事業者との契約に向けた事業者選定支援業務（アドバイザー業務）の委託を実施するほか、施設更新に向けた土壌概況調査等を行います。

予算の内訳（使いみち）

- PFI審査委員会委員謝礼 25万2千円
- PFIアドバイザー業務委託 2,325万3千円
- 施設更新予備調査業務委託 308万6千円

財源内訳

- 小平市の負担額 2,659万1千円

◆通学路への防犯設備の整備

834万4千円

担当：学務課

予算書掲載ページ：248

小学校の通学路における児童の見守り活動を補完するため、通学路に防犯カメラを設置します。平成27年度から平成30年度までに全小学校で整備する予定であり、平成30年度は4校の整備を行います。

予算の内訳（使いみち）

- 防犯ベスト・カメラ購入 705万3千円
- 電気料金 28万6千円
- 申請手数料等 10万8千円
- 設備保守 79万4千円
- 電柱使用料 10万3千円

財源内訳

- 都の負担額 611万1千円
（うち市町村総合交付金 260万円）
- 小平市の負担額 223万3千円

◆特別支援教育の充実

担当：学務課、指導課

404万2千円

予算書掲載ページ：236、240、
242

現在、市内の小・中学校に派遣している作業療法士の巡回相談回数を増やし、充実した支援を行います。小学校の特別支援学級に配置している介助員を、中学校の学級における宿泊学習・修学旅行時にも配置し、生徒の安全管理や教員の負担軽減を図ります。就学等に関して保護者からの相談を受ける就学相談員に臨床心理士を新規に任用し、就学相談業務を充実します。

予算の内訳（使いみち）

●巡回相談員報酬等	24万3千円
●特別支援学級介助員賃金等	69万1千円
●就学相談員報酬等	310万8千円

財源内訳

■国の負担額	4万円
■小平市の負担額	400万2千円

◆コミュニティ・スクールの充実

担当：指導課

536万8千円

予算書掲載ページ：242

学校経営協議会を設置し、保護者・地域住民等が一定の権限と責任を伴いながら、学校経営に意見を反映させ、地域に開かれた学校づくりを推進します。現在、小学校7校、中学校1校で実施しており、平成30年度は、第十一小学校と第十三小学校、第二中学校の導入に向けた取組を行います。

予算の内訳（使いみち）

●学校経営協議会委員報酬	183万6千円
●消耗品、講師謝礼など	353万2千円

財源内訳

■都の負担額	73万1千円
■小平市の負担額	463万7千円

◆地域による放課後等の学習支援の充実

担当：地域学習支援課

61万8千円

予算書掲載ページ：268

中学校3校で、放課後学習教室として地域の人材による学習支援を行います。平成30年度からは通年実施とし、学習支援の場の充実を図ります。

予算の内訳（使いみち）

●コーディネーター世話人・学習支援員への謝礼	58万8千円
●事業用消耗品	3万円

財源内訳

■都の負担額	41万1千円
■小平市の負担額	20万7千円



中学校放課後学習教室

◆放課後子ども教室の拡充

担当：地域学習支援課

4,149万9千円

予算書掲載ページ：274

学校との連携・協力のもと、地域の力による子どもたちの放課後等の安全・安心な居場所の提供を行います。

小学校19校において、様々な学習やスポーツ・文化活動、地域の方々との交流等の機会を提供します。また、中学校においては学習活動を中心とする放課後学習教室を5校で実施します。

平成30年度は、実施回数の増加等を行い、充実を図ります。

予算の内訳（使いみち）

- 運営委員会・コーディネーターへの謝礼 779万7千円
- 運営委員会消耗品費 34万円
- 放課後子ども教室実行委員会委託料 3,336万2千円

財源内訳

- 都の負担額 2,766万6千円
- 小平市の負担額 1,383万3千円



放課後子ども教室の和太鼓教室の様子

◆ブックスタート事業の実施

担当：図書館

170万2千円

予算書掲載ページ：286、288

3～4か月児健康診査時に、図書館職員、ボランティアが一人につき1～3組の赤ちゃんと保護者に対して絵本の読み聞かせを行ったうえで、絵本を手渡します。絵本を介して親子が心ふれあうひとときを持つきっかけづくりと、将来にわたり本と親しむ環境を整備します。

予算の内訳（使いみち）

- ボランティア育成講座講師謝礼 12万円
- ボランティア用保険料 1万5千円
- 配布用絵本購入 156万7千円

財源内訳

- 小平市の負担額 170万2千円



絵本を楽しんでいる様子

◆市民総合体育館第一体育室空調設備設置工事

担当：文化スポーツ課

2億1,499万4千円

予算書掲載ページ：308

都の2020年オリンピック・パラリンピックの成功に向けた補助金を活用して、市民総合体育館のメインアリーナである第一体育室に空調設備を設置します。スポーツに親しむことのできる環境を充実し、生涯スポーツの推進を図ります。

予算の内訳（使いみち）

●空調設備設置工事 2億1,499万4千円

財源内訳

■都の負担額 1億円
 ■小平市の負担額 1億1,499万4千円
 （うち市の借金 1億1,490万円）



市民総合体育館第一体育室

◆東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会へ向けた気運醸成

担当：秘書広報課、文化スポーツ課、公民館

721万1千円

予算書掲載ページ：52、54
 280、282
 304

東京都の補助事業を活用し、オリンピック・パラリンピックの理解促進、障がい者スポーツの振興の観点等から、平成29年度に引き続き、気運醸成のためのイベント等を実施します。

公民館では、オリンピック・パラリンピックへの関心・参加意識を高め、スポーツに対する関心を喚起するため、オリンピック参加国の文化を紹介する講座、英会話講座、及びスポーツレクリエーション体験事業を実施します。

また、市報でのオリパラ特集や、市内小・中学生による「オリパラ子ども通信」の発行により、東京2020大会の情報を発信して、理解、気運醸成を図ります。

予算の内訳（使いみち）

●講演会・展示会等 60万円
 ●市内回遊型イベント 180万円
 ●スポーツ教室等 81万2千円
 ●ノルディック・ウォーキング教室 38万4千円
 ●障がい者スポーツ体験イベント、
 スポーツボランティア発掘・育成 85万2千円
 ●外国人おもてなしイベント等 40万円
 ●講演会・講座の実施 138万8千円
 ●オリパラ特集・子ども通信 97万5千円

財源内訳

■都の負担額 366万8千円
 ■その他補助金等 38万4千円
 ■小平市の負担額 315万9千円



国際理解講座の様子



ボッチャ交流会の様子

☆その他の事業（教育・生涯学習）

◆小学校経費（小学校施設維持管理・就学援助・保健事業・給食運営事業など）	14億5,523万2千円
◆中学校経費（中学校施設維持管理・就学援助・保健事業・給食運営事業など）	8億4,492万7千円
◆公民館経費	3億9,877万3千円
◆図書館経費	8億65万5千円
◆体育館・体育施設経費	3億5,448万9千円

4 住みやすく、希望のあるまちをめざして —都市基盤・交通・産業—

住みやすく魅力あふれるまち、だれもが気持ちよく過ごすことができるように駅前や道路が整備され、すべての人々にとって親しみがあり、生活に便利な味わいのあるまちの実現をめざします。

◆小川駅西口地区再開発事業の推進

1億7,470万円

担当：地域整備支援課

予算書掲載ページ：216、218

都市計画マスタープラン（平成28年度策定）の内容を踏まえ、小川駅東西自由通路の基本設計等を行うほか、準備組合に対する補助等を行います。

予算の内訳（使いみち）	
●都市再生整備計画作成	270万円
●東西自由通路基本設計等	1,700万円
●公共施設管理者負担金	1,700万円
●補助金（準備組合へ）	1億3,800万円

財源内訳	
■国の負担額	7,380万円
■都の負担額	3,552万5千円
■小平市の負担額	6,537万5千円



現在の小川駅西口

◆小平駅北口地区再開発事業の推進

1,300万円

担当：地域整備支援課

予算書掲載ページ：218

再開発準備組合に対して活動費を補助し、技術的支援を行うとともに、都市計画資料の作成を行います。

予算の内訳（使いみち）	
●作成等委託 （都市計画資料作成）	1,260万円
●補助金（準備組合へ）	40万円

財源内訳	
■都の負担額 （市町村総合交付金）	980万円
■小平市の負担額	320万円



現在の小平駅北口

◆小川四番土地区画整理事業の推進

2,675万円

担当：地域整備支援課

補正予算書掲載ページ：220

平成29年度に設立した土地区画整理組合に対し、基準面積を超える公園面積の用地費相当を補助します。

予算の内訳（使いみち） ●補助金（組合へ）	2,675万円
--------------------------	---------

財源内訳 ■小平市の負担額	2,675万円
------------------	---------



現在の小川四番地区

◆市道の無電柱化に関する基礎調査の実施

291万6千円

担当：道路課

予算書掲載ページ：212

無電柱化の技術的ノウハウの蓄積を図るため、東京都の無電柱化チャレンジ支援事業を活用し、候補となる路線を抽出するために、必要な基礎調査を実施します。

予算の内訳（使いみち） ●(仮称)小平市無電柱化チャレンジプラン策定 (基礎調査)	291万6千円
-------------------------------------------------	---------

財源内訳 ■都の負担額	291万6千円
----------------	---------

◆都市計画道路整備の推進

5,700万5千円

担当：道路課

予算書掲載ページ：224、226

「東京における都市計画道路の整備方針(第四次事業化計画)」により優先整備路線に選定された都市計画道路3・4・10号線や3・4・19号線、また、地域のまちづくりの一環として「第三次みちづくり・まちづくりパートナー事業」による整備を行う、府中街道から山王通りまでの都市計画道路3・3・3号線の整備に向けて、関係機関と協議等を進めます。

予算の内訳（使いみち） ●都市計画道路調査事業 (協議用資料作成・土質調査・用地測量等)	5,700万5千円
----------------------------------------------------	-----------

財源内訳 ■都の負担額 (うち市町村総合交付金 2,750万円)	3,738万5千円
■小平市の負担額	1,962万円



都市計画道路3・3・3号線（小川町一丁目区間）

◆道路整備事業の充実

4億2,804万8千円

担当：道路課

予算書掲載ページ：212、214

道路維持補修工事として7件（**1**～**7**）、道路新設改良工事として3件（①～③）を予定しています。また、引き続き私道に対する助成を実施します。

※道路整備予定箇所については、次ページに掲載しています。

予算の内訳（使いみち）	
●道路維持補修	2億3,854万8千円
●道路新設改良	1億6,110万円
●私道補助	2,840万円



道路維持補修工事により整備された市道

財源内訳	
■国の負担額	770万円
■都の負担額	6,385万円
（うち市町村土木補助	1,230万円）
（うち地域福祉推進区市町村包括補助	425万円）
（うち市町村総合交付金	4,730万円）
■私道補助事業受託収入	280万円
■小平市の負担額	3億5,369万8千円
（うち市の貯金取崩し	100万円）
（うち市の借金	3億2,460万円）

◆市内公共交通の充実

4,751万1千円

担当：公共交通課

予算書掲載ページ：218

小平駅から津田公民館・図書館を循環するコミュニティバス運行のほか、コミュニティタクシーは既に試行運行を実施している、大沼ルート、栄町ルート、鈴木町ルートに加え、市南西部地域においても実証実験運行を開始します。また、公共交通が身近な乗り物であることをPRするために「バスとタクシーのひろば in 小平」を開催するとともに、公共交通マップの作成などによる公共交通の利用促進を行います。

予算の内訳（使いみち）	
●コミュニティバス運行経費補助・消耗品	2,034万4千円
●コミュニティタクシー運行経費補助	2,555万5千円
●総合的な交通体系整備支援等	161万2千円
（謝礼・消耗品・マップ作成・チラシ配付委託）	

財源内訳	
■公共交通マップ広告収入	36万円
■小平市の負担額	4,715万1千円

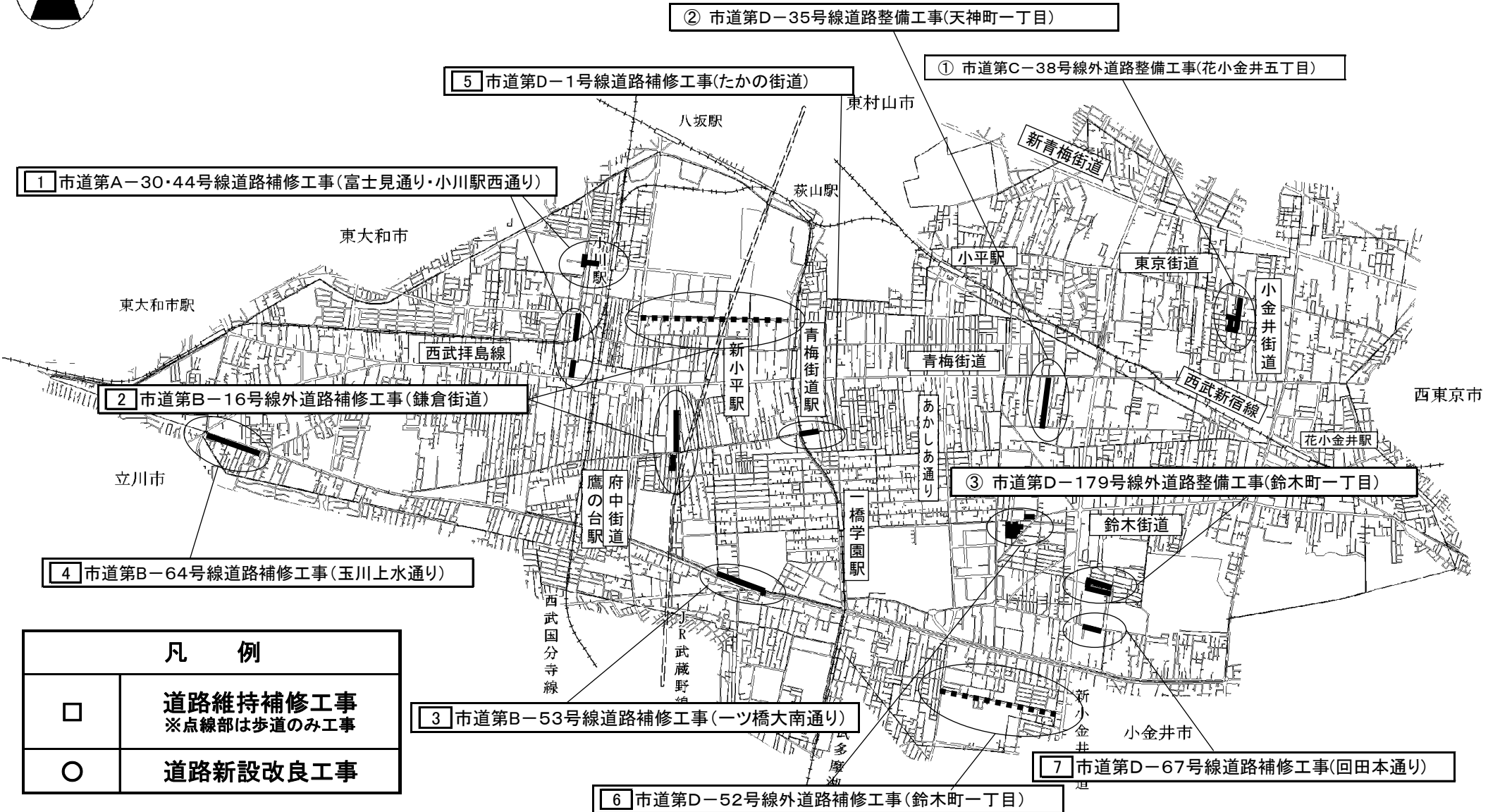
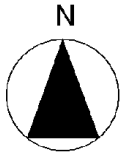


にじバス



びるべー号栄町ルート

平成30年度 道路整備予定箇所図



凡 例	
□	道路維持補修工事 ※点線部は歩道のみ工事
○	道路新設改良工事

◆鉄道駅周辺における自転車駐車場整備の検討

2,867万5千円

担当：交通対策課

予算書掲載ページ：208

小川駅西口地区及び小平駅北口地区の市街地再開発事業による駅前広場の整備にあわせ、自転車駐車場整備の方向性を検討します。

予算の内訳（使いみち）

- 自転車駐車場整備の検討業務 2,867万5千円

財源内訳

- 小平市の負担額 2,867万5千円

◆FC東京との連携による地域の活性化事業(FC東京創設20周年記念事業の実施)

645万6千円

担当：産業振興課、文化スポーツ課

予算書掲載ページ：200、302

FC東京と連携した様々な事業を実施し、小平市の観光及び産業の活性化、スポーツの振興につなげます。

また、FC東京が創設20周年を迎えることから、市と連携した記念事業を実施します。

予算の内訳（使いみち）

- クラブサポートメンバー入会特典グッズ、記念モニュメント等作成委託 618万3千円
- PR用懸垂幕作成委託等 27万3千円

財源内訳

- 都の負担額 333万3千円
- 小平市の負担額 312万3千円



FC東京連携事業（サッカークリニック）の様子



FC東京マスコットキャラクター「東京ドロンパ」と小平市のマスコットキャラクター「ぶるべー」

◆観光まちづくりの推進

1,743万2千円

担当：産業振興課

予算書掲載ページ：200

「小平市観光まちづくり振興プラン」の推進主体である「こだいら観光まちづくり協会」の活動に対して支援を行い、観光まちづくりを推進します。

予算の内訳（使いみち）

- 「こだいら観光まちづくり協会」への助成 1,743万2千円

財源内訳

- 小平市の負担額 1,743万2千円



まち歩きガイド養成講座の様子

◆地域連携型商店街事業

504万円

担当：産業振興課

予算書掲載ページ：196

商店会と地域団体が実行委員会を組織して行うイベント等に対して支援し、地域の賑わいを創出します。

予算の内訳（使いみち）	
●対象事業者等への助成	504万円

財源内訳	
■都の負担額	252万円
■小平市の負担額	252万円

◆市内事業者承継支援

100万円

担当：産業振興課

予算書掲載ページ：196

市内小規模事業者に対し、事業承継に係るアンケートを実施して課題を抽出し、個々の事業者のニーズに適したきめ細やかな対応や支援につなげます。

予算の内訳（使いみち）	
●商工会への補助金	100万円

財源内訳	
■小平市の負担額	100万円

◆農商連携地産地消・商業活性化推進プロジェクト

240万円

担当：産業振興課

予算書掲載ページ：194、198

小平産農産物の収穫体験や、農産物を使った飲食店等のオリジナルメニューの試食を行うイベントを実施し、市内の農産物、飲食店の魅力をPRします。

予算の内訳（使いみち）	
●イベント業務委託	240万円

財源内訳	
■都の負担額	120万円
■小平市の負担額	120万円



小平産農産物

◆子育て中の女性の就労促進事業

708万円

担当：産業振興課

予算書掲載ページ：188

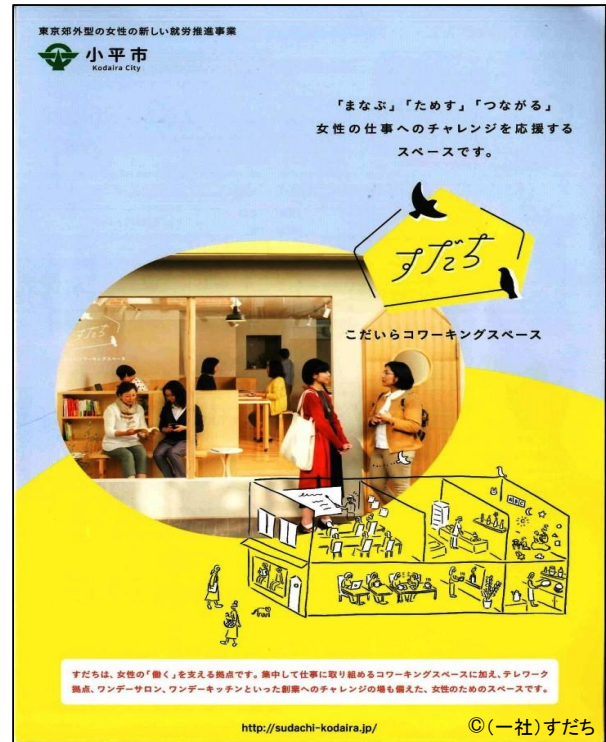
国からの交付金を活用して平成28年度から実施している事業です。地域経済の活性化を図るとともに、子育て世代を中心とした女性が社会で活躍できるよう、ビジネススキルアップ研修や講座の実施、仕事の創出や業務の受発注、コワーキングスペース（様々な人と共同で働く場・作業スペース）の運営などの取り組みに対し、引き続き支援します。

予算の内訳（使いみち） ●対象事業者等への助成	708万円
----------------------------	-------

財源内訳 ■国の負担額 ■小平市の負担額	354万円 354万円
----------------------------	----------------



こだいらコワーキングスペース「すだち」



◆都市農業活性化支援事業（野菜組合への農機導入経費等支援）

6,162万5千円

担当：産業振興課

予算書掲載ページ：194

小平市野菜組合に対し、施設や農機の導入経費を支援し、生産者の農業収入の増大と農業経営の安定化を図ります。

予算の内訳（使いみち） ●施設や農機の導入経費補助	6,162万5千円
------------------------------	-----------

財源内訳 ■都の負担額 ■小平市の負担額	4,162万6千円 1,999万9千円
----------------------------	------------------------



平成29年度に導入したナシの根域制限栽培システム

☆その他の事業

◆交通安全対策経費（交通安全、自転車対策）	3億5,421万2千円
◆道路橋りょう経費（駅前広場、市道の管理、里道等管理）	1億4,505万円

5 健全で、進化するまちをめざして — 地方自治・行財政 —

都市として進化する魅力あふれるまち、自己の責任で都市の行財政の運営をめざすことによって、まちの輝きを持ち続け、またみんなに信頼され進化するまちをめざします。

◆市ホームページリニューアル

1,099万4千円

担当：秘書広報課

予算書掲載ページ：54

市ホームページのシステム入れ替え時期の到来に伴い、利用者が探しやすい分類への整理、検索機能の向上、魅力発信・ビジュアル要素の充実、SNSの拡充、障がい者対応、危機管理などを強化したりリニューアルを行います。平成29年度から改修を開始しており、平成30年7月から運用を開始します。

予算の内訳（使いみち）	
●システム構築等委託	679万4千円
●システム保守整備等委託	420万円

財源内訳	
■小平市の負担額	1,099万4千円



市ホームページのトップページ（リニューアル前）

◆市報の戸別配布

18万6千円

担当：秘書広報課

予算書掲載ページ：52、54

新聞折り込みと郵送を中心とした市報の配布方法を、7月5日号から戸別配布に変更します。

予算の内訳（使いみち）	
●市報の戸別配布（増分）	18万6千円

財源内訳	
■小平市の負担額	18万6千円

◆（仮称）小平市第四次長期総合計画の策定

300万円

担当：政策課

予算書掲載ページ：64

小平市第三次長期総合計画基本構想の目標年次が平成32年度までであることから、次期長期総合計画の策定に向けた作業を開始します。平成30年度は、基礎調査等を行います。

予算の内訳（使いみち）	
●研修講師謝礼	14万6千円
●旅費、消耗品	4万3千円
●通信運搬費	74万8千円
●アンケート調査等委託	206万3千円

財源内訳	
■小平市の負担額	300万円

◆市民窓口業務の改善

5,118万円

担当：市民課、総務課

予算書掲載ページ：50、90

「窓口サービス改善の方針」に基づき、市民の手続きの効率化や利便性を高めるため、総合案内とフロアマネジャーの連携の強化、電話問い合わせに対する一次対応の充実などを行い、わかりやすく親切な窓口案内を目指します。

予算の内訳（使いみち）

- 電話交換中継台増設 402万円
- 窓口業務委託 4,716万円

財源内訳

- 小平市の負担額 5,118万円



市役所1階窓口の様子

◆地方公営企業会計への移行

2,792万1千円

担当：下水道課

平成30年度小平市下水道事業特別会計予算書掲載ページ：16

下水道事業を平成31年度までに官公庁会計から公営企業会計へ移行します。平成30年度は、引き続き、固定資産調査及び評価、地方公営企業会計システムの運用等を行います。

予算の内訳（使いみち）

- 固定資産調査・評価業務等 2,593万5千円
- 地方公営企業会計システム機器保守 198万6千円

財源内訳

- 小平市の負担額 2,792万1千円

◆公共施設マネジメントの推進

1,171万6千円

担当：公共施設マネジメント課、教育総務課

予算書掲載ページ：64、246、256

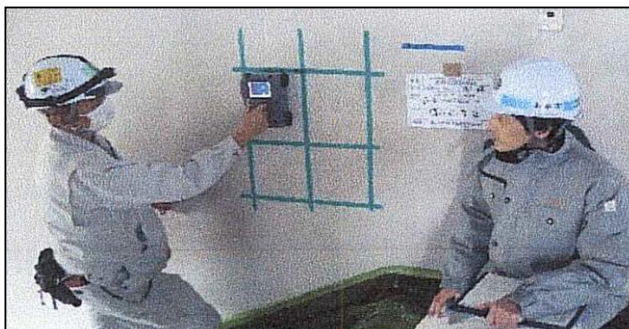
「公共施設マネジメント推進計画」に基づき、中央公民館、健康福祉事務センター等の更新等について、平成30・31の2か年度をかけて基本計画を策定します。
また、施設更新時期の平準化を検討するため、劣化診断の基礎調査を行います。

予算の内訳（使いみち）

- 中央公民館・健康福祉事務センター等の更新等に関する基本計画策定等支援 221万6千円
- 公共施設の劣化診断基礎調査（小・中学校） 950万円

財源内訳

- 小平市の負担額 1,171万6千円



劣化診断の様子



現在の中央公民館